

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



放射線診断科・IVR

こやま けん
部長 児山 健

放射線診断科は患者さんには馴染みが薄いかもかもしれませんが、病院において実はとても大切な仕事をしています。最近、ラジエーションハウスというドラマにもな

りました放射線技師が撮影した主にCT、MRI、消化管造影、核医学検査(PETなど)などの画像検査に対し、放射線診断科は画像診断レポートを作成し、各診療科をサポートしています。このように、画像診断はあらゆる臓器が対象となるため範囲も非常に広く様々な知識が必要となります。また、放射線技師が撮影する画像検査に対し、我々放射線診断医が依頼内容に適した最適な撮影方法、撮影条件などを指示し個々の患者さんにおいてよりよい、適切な画像を撮影しています。

そして、放射線診断科では画像診断以外にもIVR (interventional radiology：画像誘導下治療)で直接患者さんの治療も行い、様々な科をサポートしております。IVRも同様に馴染みが薄いと思いますが血管造影・超音波・CTなどの画像ガイド下に経皮的に行う治療で、腫瘍や血管病変など全身の幅広い疾患に低侵襲性治療を行っています。IVRの手技としては根治的治療困難例や多発する肝細胞癌に対する肝細胞癌の治療である経皮的肝動脈化学塞栓療法(TACE)や出血に対するカテーテルを用いた血管塞栓術やCT、超音波を用いて膿瘍(膿)に針を刺し、ドレナージ(※)を行ったりしています。当院のIVRの特色としては全国に十数台しかない装置を導入しており、腎癌を凍らせて治療する凍結治療を行っています。緊急時でも24時間対応できるようにIVRではオンコール体制を取っています。

現在、医療スタッフは放射線診断医4人、放射線技師30人(放射線治療技師：8人)、看護師4人、受付4人で日々の診療を行っています。また、他の診療科とカンファレンスを定期的に行い、困難な患者さんの治療方針を一緒に考え、検討もしています。それから、周辺医療機関からの画像検査も地域医療連携室を通し積極的にお受けしており、画像診断レポートを作成し依頼元に返信をしています。

今後ともよろしくお願いいたします。

(※) カテーテルなどを用いて、血液、膿、滲出液、消化液など体内に貯留した液体を体外に排出することをいいます。